



吉田公民館だより



発行 登米市吉田公民館
(指定管理者 吉田コミュニティ運営協議会)

TEL : 0220-55-2124
FAX : 0220-55-4528

吉田コミュニティ運営協議会



事業報告

家庭教育学級じゃんぷ (7月15日)



今年度から東幼稚園と西幼稚園が米山幼稚園として1つになり、家庭教育学級も米山地区の3公民館合同で開催していきます。第1回目の学習会として今回は「カレーパーティー」を開催。

野菜の先生に4歳児さんは、玉ねぎの皮むき、5歳児さんは、にんじんとじゃがいものピューラーでの皮のむき方を、教えてもらいながら挑戦しました。

その後は、お遊戯室で遊びながら、野菜の先生たちがおいしいカレーにしてくれるのを待ちました。お昼の時間になり、だんだんカレーの良い香りが園内にしてきて、お遊戯室にカレーが到着。自分たちが皮をむいた野菜が入ったカレーを見て、園児たちは大興奮でした！

そしていよいよ、ごはんにかレーをよそってもらって「いただきます！」と元気な声が響きました。みんなで食べるカレーは美味しく、何度もおかわりをする子もいました。お腹いっぱいカレーを食べ、満足そうな顔をしている園児たちを見ることができました。

キッズサークル (7月21日)



夏休み初日に第2回楽習会を開催。9名の楽級生が参加しました。

「夏休みの宿題大作戦&室内グラウンドゴルフ」ということで、1部では、約1時間夏休みの宿題を各自で進めてもらいました。一言も喋らず真剣に取り組んでいました。なかには「時間が足りない。」という子もいました。

2部では、楽級生から大人気の室内グラウンドゴルフを行いました。最初はなかなか入らず苦戦していた子もいましたが、最後の方にはコツをつかんだのか3人の楽級生がホールインワンを出しました。

「ホールインワンだせたよ！」「ホールインワンになりそうだったのに、ならなくて悔しかったから、またやってください。」と今回の楽習会も楽しんでくれたようです。

裏面もご覧ください 

吉田女性サークル（7月25日）



第2回学習会では、幸せつまみ細工はなはなの那須野公美氏を講師に迎え、紙で作る蓮ランタンを教えてくださいました。

それぞれ好きな色の紙を選び、蓮ランタンを作りました。指先での細かい作業が多く、皆さん夢中で取り組んでいました。

出来た作品を見て「きれいに仕上がって良かった。」「お盆前に、素敵な蓮ランタンが出来て良かった。家に帰ったらすぐ飾ります。」「友達や実家にもプレゼントしたい。」「来年もこの時期に開催してほしい。」と学級生からとても好評でした。

キッズサークル（7月29日）



防災体験遊具



小暮さんのほふく前進



ロープワーク

米山地区3公民館合同青少年事業として「移動学習会」を開催。東松島市野蒜にある廃校を活用した防災体験型学習施設の『^{キボッチャ}KIBOTCHA』に行き、防災について楽しく遊びながら学んできました。

午前中は、防災体験遊具で元気いっぱい遊び、午後には元自衛隊の小暮さんに、もやい結びや本結びなどの結び方を学ぶロープワーク、竹と毛布でつくる簡易担架づくり、ほふく前進を教えてくださいました。小暮さんのほふく前進を見て、楽級生は「すごい！」と大盛り上がり。小暮さんに教えていただきながら、楽級生も一生懸命体験していました。

午前中はたくさん遊び、午後には頭も体も使い帰りのバスでは、ぐっすり寝て帰ってきた子もいました。最後には「楽しかった。」「また行きたい。」と楽級生達は喜んで帰ってくれました。

8月23日に予定していた花山での沢遊びは、新型コロナウイルス感染症の市内での急激な拡大により、残念ながら中止となりました。楽級生も「みんなと沢で一緒に遊べるのを楽しみにしていた。」「キッズサークルの事業の中で1番楽しみだった。」と残念がっていました。

館長の戯言（ざれごと）No. 10 「かが・かが」（参考図書：方言に生きる古語）

我が公民館職員のKさんは8月22日から産休に入り、いよいよお母さんになります。そのお母さんや妻の意味で使われている方言「かが・かが」を取り上げます。

「かが・かが」の語源は古語の「かか」で、東北方言の特徴で力行音がガ行音に変化して「かが」「かが」となりました。元々母親の意味で使われていたのが妻の意味も持つようになりました。

また、「かか様」や「かかさん」から「かあさん」に転じて、現在では母さんが標準語になっています。